

かしょう いずみし けいかく そあん  
(仮称)和泉市こども計画(素案)

参考資料2

ほん  
やさしい版



こどもの<sup>みな</sup>皆さんにも、わかりやすいように<sup>つく</sup>作りました

## 和泉市子ども計画ってなに？

和泉市が子ども施策※を進めるときに、大事にすることや必要なことを書いています。

これから和泉市が行うことのための取り組みは、「和泉市子ども計画」に沿って進めていきます。

※子どもに関する取り組みのこと。おとなになるまでの心や身体の成長をサポートすることや、子育てをする人々へのサポートをすることなどがあります。

## なぜ計画をつくるの？

すべての子ども・若者が幸せな生活を送ることができる社会を目指して、「子ども基本法」という法律ができました。

そして、子ども施策をしっかりと進めていくため、和泉市では「和泉市子ども計画」をつくることになりました。

## 和泉市子ども計画のめざすものはなに？



すべての子どもの可能性を育み、その可能性を

十分に発揮できる子どもまんなかの和泉市

## だれのためにつくるの？

和泉市に住むすべての子ども・若者や周りのおとなのために作ります。

## いつからいつまでの計画なの？

令和7年度から令和11年度までの5年間の計画です。

# アンケート調査や子ども・若者によるワークショップでわかってきたこと

子どもや保護者を対象にアンケートをとったり、子どもや若者、支援に深くかかわっている関係者、地域に暮らす人などの意見を直接聴くワークショップを行い、計画を作るにあたって現在の状況や様子を聞いて情報を集め、課題の整理を行いました。

仕事も子育ても充実したい。

困ったときに助けてくれるしくみを充実して。

もっと自分の意見を聞いてほしい！

いろんな遊びができる場所があったらいいな。

身近な相談できる場所が増えてほしい。

学校や家以外にも自分の居場所があったらいいな。

けいかく だいじ 計画が大事にすること (6つの基本方針)

きほんほうしん



けんり  
こどもの権利

こどもが自分の意見を言える  
機会を作り、さまざまなこと  
経験することで、ありのままの  
自分を大切に、生活や生き方  
を自分で決める力を育てます。



ちいき  
地域の  
みんなで

地域に住んでいる人やさまざま  
な団体と協力しながら、こども  
がさまざまな遊びや経験をする  
機会を作ります。



こんなん かが  
困難を抱える

しえん  
こどもを支援

子ども虐待、貧困など、困難を  
抱える子ども(家庭)を支援し  
ます。



しゅうい ささ  
周囲に支えられた

じぶんこそだ  
自分らしい子育て

周囲から子育てを支えられている  
と実感でき、自分らしい子育てが  
できるよう必要な支援を進め  
ます。



こんなん かが  
困難を抱える

わかもの しえん  
若者への支援

ひきこもり、ヤングケアラ一な  
ど、困難を抱える若者が、ひとり  
で抱え込まず、早期に解決でき  
るよう、支援します。



ライフステージに

そった支援

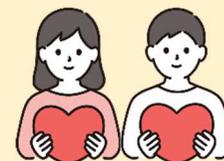
誕生前から幼稚園、小学校から  
中学校・高校などのライフス  
テージに合った、きめ細やかな  
支援を進めます。



# どんな取り組みをするの？

## こどもの権利とこどもの意見を守るための取り組み

- こどもが自分の意見を言える機会を増やし、和泉市の取り組みに活かします。
- こどもに関わる学校や保育園などの先生、相談員などがこどもの意見を尊重するように伝えていきます。
- 家族にこどもの考えや思いを受け止めることが大切であることを伝えていきます。



## 地域みんなでこどもを大事に育てるための取り組み

- さまざまな人が集まる場所や、地域に住んでいる人が生活している場所の中の「こどもの居場所」など、地域に住んでいる人による居場所づくりを支援します。
- 保育や教育におけるさまざまな体験・交流の機会や遊び場、活動の場を作ります。
- 地域団体、民間団体、民間企業などと協力した遊びや体験の場を作ります。



## 困難を抱える子どもとその家庭を支えるための取り組み

- ヤングケアラーや不登校の子どもについて、一人ひとり合った支援を行います。
- 障がい児が身体と心の両方とも健康に成長していくために、一人ひとりの状態に合った切れ目のない支援を行います。
- 子どもにSOSの出し方を伝え、子どもの生きづらさに気づき、SOSを受け止めることのできる人を育てます。



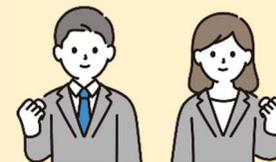
## みんなに支えられた自分らしい子育てのための取り組み

- 育児負担を軽減するための支援策を充実します。
- 男女が共に育児に参加する環境づくりに取り組みます。
- 子育てに関する相談先や親子が交流する場も含めた情報を広く知らせます。また、必要な情報に素早く簡単にアクセスでき、さまざまな手続きをストレスなく行える環境を整えます。



## 困難を抱える若者を支えるための取り組み

- ひきこもりなどの困りごとを抱える若者が相談できる場所に繋がり、本人の段階に合った支援ができるよう、仕組みづくりを進めます。
- 困っている若者の居場所づくりとそれを支える人を育てる取り組みを行います。
- ひきこもりなどへの理解を広めるため、こども・若者自身やおとなに広く知らせます。



## ライフステージにそった取り組み

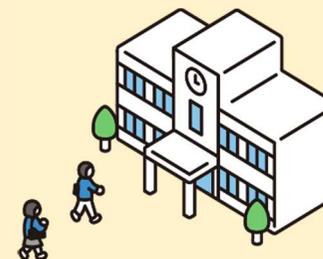
### 1. 誕生前から5才くらいまで

- 妊娠中からそれぞれの家庭に寄り添った切れ目のない相談支援を行います。
- こどもの成長、発達に役立つ保育サービスを提供します。



### 2. 学童期から思春期(6才から18才まで)

- 安全・安心に、みんなと関わりながら育つ、こどもの居場所としての学校になるよう取り組みます。
- 自分らしく生きていこうとするこどもの発達・成長を支えます。



# こども施策を進めていく上で大事なことってなに？

こども・若者のみなさんがこども計画の当事者です。

こども・若者とおとなが分け隔てなく、一緒になって社会をつくること、また、こども・若者も社会の一員として声をあげることができ、その声が社会に活かされることがとても大事なことです。

今後、さまざまな分野においてこども施策を広げていくときは、こども・若者の意見を聴く機会を多く作り、意見を反映させながら取り組みを進めていきます。

こどもの意見を大切にすることについて、より多くの人に広く知らせ、こどもを含めすべての市民が自分らしく生活しやすい和泉市を目指します。



ぜひみなさんの声を聴かせてください！

